

## 研 修 報 告

福 留 弘 康

研修地及び日程 大分県温泉熱花き研究指導センター及び福岡市森林公社花畑園芸公園，1993年  
3月17～19日

### 大分県温泉熱花き研究指導センター

目的 温泉熱を利用した農業と問題点について調査する。

内容 別府の鉄輪温泉にあり，主に 1) 花きの品種改良，2) 花きの栽培法の改善，3) 花き類の病虫害の防除，生理障害に関する研究，4) バイオテクノロジーの応用技術等の業務を行っている。

1) では，カーネーションやユリ等の優良系統，品種の育成に取り組み，多くの品種登録やそれについての登録を申請中だそうだ。2) では，バラやカーネーションのロックウール栽培等の作型開発や，自動給水法での省力栽培の研究が行われ，良質花の生産が得られていた。また，灌水の度合による生育への影響についての研究が行われ，形質の整った切花作りへの努力がなされていた。

温泉利用は，温泉の蒸気を利用しているため輸送パイプの掃除がほとんど不要である。また，泉質の pH が 2.4 と酸性のため湯垢が発生しにくいということだ。暖房パイプの接合部等にはステンレス製のものを利用し，長期使用の可能性について実験が行われていた。

### 福岡市森林公社花畑園芸公園

目的 温室利用熱帯果樹の栽培，霜地における常緑果樹，落葉果樹等の栽培法の研修。

内容 福岡市の油山の海拔 80m に位置し，福岡県の旧果樹試験場の跡地を利用した公園であり，さらに市民の憩いの場としての機能を備えている。

園内には熱帯果樹温室，花き温室の他に，ミカン，カキ，ナシ，モモ，リンゴ，キウイ等の温帯果樹が栽培されており，温帯果樹は果物狩り等のイベントを通じ収穫を行っている。熱帯果樹については，バナナ，パパイア，ゴレンシ等 45 種を栽培しており，収穫物は売店で販売されていた。特に興味をひいたのは，品種の異なるレイシの栽培実験であった。

そのほかに展示研修館「園芸センター」があり，図書やフルーツのルーツ等を視聴覚機器で学習できる設備が活用されていた。

花畑園芸公園全体に各種の果樹が栽培され，特にリンゴの栽培は先進産地に劣らない技術が確立されていた。

感想 2施設に共通する点として、生産者対象の研修や園芸相談、消費者や一般の人を対象としたフラワーアレンジメント等の園芸講座を開き、地域の人々とのふれ合いを大切にしている点があげられる。そして、観光農園としての整備が十分にされており、各植物にラベルがついていたため理解に好都合であった。

指宿植物試験場も「みせる農場」としての整備が必要だと感じた。職場としての役割はもちろん利用者に満足してもらえるような環境があれば、より良い指宿植物試験場になると考えられる。例えば、広い指宿植物試験場を活かした学生実習を農学部に限らず他学部の学生にも体験してもらい、農業の楽しさや今後の農業のありかたを検討する等実現すれば多くの意見が参考になり面白いと思う。

この研修を通じて、現在の勤務地のみでは分からない良い面を発見でき、このことは自分にとってまだやるべき事が数多くあるという考えにつながった。今後より良い指宿植物試験場を作るためにより一層努力したい。